

NPO法人 かながわ外国人すまいサポートセンター



ニュースレター No.33

“すまセン”の窓口ではスタッフが10ヶ国語で相談を受け付けています。
 アパート探しの内見や契約後の問題発生など必要に応じて通訳を派遣します。
 お気軽にお尋ねください。

ごあいさつ



私たちは今、人類発生以来の特別な年を過ごしています。

コロナの恐怖に曝され、長期にわたる大雨による被害に遭遇し嘗て経験したことがない猛暑にも見舞われました。経済状況の悪化により経営の一時中断や業務停止、会社や店をたたむ人たちが増えた上にリモートが日常となり、学校が閉鎖され居場所を失った子供たちも少なくありません。一時的に海外に渡った永住者や日本人の配偶者などが日本に戻れなくなり新たな離散を生み出す結果となっています。

すまセン 2020 年度総会も密を避け小規模で行うことになりましたが、理事、スタッフ一同コロナ禍の中でも変わらず外国人や生活困窮者の住まい確保、継続的居住を支えるためさらなる努力を重ねる決意を新たにしています。失職や住居喪失の恐れのある外国人が増え、すまセンには住居確保給付金や持続化給付金、緊急小口貸付、生活総合支援金などの多言語申請サポートを求め多くの人たちが訪ねてきました。しかしこれはごく一部にすぎません。

国は外国人を含めるすべての住民たちを対象とした住居確保給付金をはじめとする様々な救済措置を実施したものの多言語による情報提供が十分ではないことから制度に行きつけない、繋がれない人たちが多く存在します。そこで、私たちはホームページにコロナ禍において必要な情報を広く届けようと多言語による制度紹介を載せることにしました。（*コロナ禍での詳しい相談内容は 2, 3 ページをご覧ください。）

コロナが新しい格差と分断ではなく、人一人ひとりを大事にする新しい関係やコミュニケーションを生み出す機会とするためすまセンができること、すべきことはまだまだたくさんありそうです。

これからも小さな力を重ねながら、やさしい関係を築きこの困難な時代を皆さんとともに乗り越えたいと思います。

かながわ外国人すまいサポートセンター理事長 裊 安

ホームページにコロナ禍における多言語情報を掲載する際、日頃からすまセンのホームページを管理して下さっている(株)アーティストユニオンの辻様に大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。皆様、ぜひ一度ご覧ください。



コロナでせいかつやしごとがたいへんなひとたちへのだいじなおしらせ

কিৰা করোনা hepat	Coronavirus Portugues Portuguese
COVID-19 ミヤンマー語 Myanmar	COVID-19 Tagalog Tagalog
新型コロナウイルス 中文 Chinese	COVID-19 ベトナム語 Vietnamese
신종코로나바이러스 한국초언어 korean	COVID-19 ภาษาไทย Thai
coronavirus Español Spanish	COVID-19 risquepar khmer
COVID-19 English English	

コロナ禍なので



ご協力お願い致します！

～すまいサポートセンターでは、以下のことをお願いしています～

- 相談に来るときは、必ず電話で予約してください。
- 同じ時間の相談は、2組までに行っています。
- 横浜 YMCA の一階入り口で手を消毒し、受付に「すまいサポートセンターに来ました」と伝えてください。
- 相談の前、検温にご協力ください。
- マスクがない人には、マスクを差し上げています。

<その他、すまセンのコロナ対策>

- ☆定期的に換気、テーブルやいすの消毒をしています。
- ☆スタッフの手洗い、うがい、手指の消毒、検温を毎日実施、マスクを着けて対応します。
- ☆相談窓口に、飛沫防止のビニールシートを設置しています。

コロナ禍ですまセンに来る外国人の状況



留学生 K さん。4月から神奈川県に大学の留学が決まり、2月に一度来日。不動産店を通して部屋を見つけた。契約書は3月に来日した際にサインすることにして、敷金など初期費用は請求通り支払った。コロナのため入国が出来なくなり、契約書にサインしないまま家賃を支払う状態になっていた。6月にすまセンに相談、大学の後期の予定が出た時点で、部屋を一旦解約することを決断。不動産店とのやりとりをすまセンがお手伝いして解約。敷金などの返金も受けた。

食品関係会社勤務。コロナ感染拡大により、収入が激減して月10万円位になった。一生懸命働いて貯金をしてきたので、乗り越えて行ける。子どもたちもアルバイトをして家族みんなで頑張っている。

50代男性。フォークリフトの仕事をしている。コロナの影響で仕事が激減した。仕事が少ない日もある。小口支援や総合融資の貸付は受けたくない。特別定額給付金を受け取った。

中古車輸出業。40代男性。コロナで休業している。持続化給付金を申請した。特別定額給付金は貯金する。

40代男性。コロナ感染拡大により、6月末に解雇された。派遣会社の寮を出て、親戚のアパートに住まわせてもらっている。解雇されて、直ぐに病気になり入院した。その病院のソーシャルワーカーが失業保険給付の手続きをしてくれた。家探しは難しいが、彼にとって必要な支援について役所と相談してすすめている。



コロナ感染拡大の影響で、収入が激減した。家賃、国民健康保険料、市民税の支払いが困難になり、役所にて住宅確保給付金の申請をした。国民健康保険料の減免申請をして、家族三人分減免できた。また市民税の分割支払いを役所にて相談した。7月に勤めていた会社から契約が打ち切られて、今は収入が無い。

車関係の仕事をしている。コロナ感染拡大の影響で、1か月間休業。持続化給付金を申請した。貸付は受けたくない。貯金をしてきたので、凌ぐことができた。

長い間日本で働いてきた。3年ほど前に体調を崩し、半年ほど働けなくなり、家賃も払えなくなるほどだった。えなくなるほどだった。治療に専念し、住居確保給付金を使ってもちこたえた。コロナ禍で仕事が減り、再びギリギリの生活になってしまった。真面目な性格なので、お金を借りると返せなくなると困るので緊急小口資金等の貸付は申請したくない。定額給付金を受け取った。

「永住者」。子どもは3人。夫は、障害者で7年間年金を払っていない。妻は、パートをして年金や健康保険を払ってきた。コロナ感染拡大で3月に失業したため、年金や健康保険が未納になった。ハローワークで失業保険の手続きをして現在は失業給付金を受けている。高校生の娘は「高校生就学特別給付金」の申請をした。

幼い子ども2人をもつ男性30代。料理店で働いている。コロナ感染拡大の影響を受けて収入が激減した。働いている店が保険に入っているの、給料の9割を保証してもらい助かっている。貸付は申請しない。

30代男性。料理店を営む。コロナ感染拡大により、収入が激減。何とかテイクアウトを提供して経営を続けている。このような状況下で受けられる支援があるのだろうかかと相談を受けた。「住宅確保給付金」「神奈川県新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休業等に協力した協力金」「持続化給付金」「緊急小口支援」等の申請をした。

専門学校生20代女性。四大家族。家族の生活を支えるためアルバイトをしているが、父親がコロナ感染拡大の影響で収入が激減、家賃滞納、授業料滞納、日々の生活もギリギリの状態になった。「住宅確保給付金」と「緊急小口資金」の申請をした。また本人の専門学校を通して「学生支援給付金」を申請した。

30代女性。シンガー。コロナ感染拡大の影響で、パブでの仕事が無くなり、役所に相談してバンド仲間と一緒に「持続化給付金」の申請をした。

コロナ禍で帰国することができなかつたため、危篤の母親の最期を看取ることができなかった。外国人は国と国の決まりで左右される。親の最期に会えないのはつらい。

29歳女性と28歳女性。ホテルで国際業務に従事していたが、東京オリンピック開催延期とコロナ感染拡大により解雇され、会社のアパートからの退去を通告された。一刻も早い住居確保が必要となった。通勤に便利なS市に当団体サポート不動産店が所有する部屋があり、運よく入居できた。ハローワークで失業保険給付申請、役所で国民健康保険等の諸々の手続きをした。就活中。



40代男性。コロナの影響で、仕事が減り、収入は激減した。滞納していた国民健康保険料及び今年の保険料の支払いについて、役所に相談、滞納分の分割払いを了承してもらい、2020年分保険料は全額免除になった。

Withコロナ、2020年度がスタート!

コロナ禍の厳しい状況の中、小規模ではありましたが2020年4月27日(月)に2020年度の総会を、続いて6月5日(金)に臨時総会を開催することが出来ました。また、8月29日(土)には2020年度第1回理事会を開催。例年通りとはいかないまでも、今年度の活動を無事スタートさせることができたのも、いつも支えてくださる会員の皆様のおかげだと感謝しております。今後ともご協力の程、よろしくお願い致します!

会員入会・寄付のお願い

皆様のご理解、ご協力が「かながわ外国人すまいサポートセンター」の活動の力になります。会員となって私たちを支えていただければ幸いです。また、ご寄付も歓迎いたします。

振込先 [郵便局] 00270-5-39032
かながわ外国人すまいサポートセンター

*手数料はお客様のご負担となります。

正会員	年会費	賛助会員	年会費
(個人)	1口 5000円	(個人)	1口 3000円
(法人)	1口 10000円	(法人)	1口 10000円
(団体)	1口 100000円	(団体)	1口 10000円

*4月1日～翌年3月31日までの年度会費です。

◆2020年度会費をお納めいただいた方々◆ *順不同

<団体>

在日本大韓国民団
公益社団法人 日本賃貸住宅管理協会 神奈川支部
公益社団法人 全日本不動産協会 神奈川県本部
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会
公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 川崎南支部

<個人>

武田 利邦 金井 信高 長田 誠 稲村 厚 高村 文子
裴 安 長澤 勲 柳 晴実
高橋 修 竹口 秀夫 水田 秀子 西村 明夫 高原 晶子
本 アルバート 山成 健治 黛 雅男 秤屋 珠江
明星 圭介 三浦 保之(新)
森川 洋子 天野 萌 阿部 孝子 笠間 和歌子
ファミ・ルー・アンジー 何 麗君 佐々木 利和 星 雪梅
佐藤 律子 カンデル・アルン

★2020年8月6日現在、順不同、敬称略。
漏れがある場合は事務局までご連絡ください。

<法人>

岡田ハウジング 株式会社 チェリッシュ
(有)ラディアン・ワークス
徳永リアルエステート(株) 豊一管財株式会社
株式会社 昌栄 湘南リビングセンター株式会社
有限会社 第一産業 株式会社 杉浦商事 株式会社 クレア
株式会社 ハウスモリー 株式会社 むげん
株式会社 イチイ オーキッド株式会社 株式会社 石川商事
(株)川崎中央プランナー 有限会社 東郊住宅社
(有)松中一級建築士事務所 徳増不動産株式会社
有限会社 エスク 株式会社 秋津不動産
(株)セントラルホームズ 株式会社 海老名住宅センター

<賛助会員>

小儀 晃 今泉 好夫

★ご寄付のお礼★ 2020年度に入り、すまセンの活動や緊急支援のために使ってほしいと、ご寄付を頂きました。千代木ひかる様、スーザン・メナデュー・チョン様、心より感謝申し上げます。

かながわ外国人すまいサポートセンター インターンシップ活動報告

インターン生の主な活動

- 7/1 神奈川人権センター
- 7/22 スタッフ会議、すまセンについて
- 8/1 スタッフ内部研修
- 8/3 オリエンテーション
浜銀総合研究所と担い手養成講座について
鎌倉市居住支援協議会ガイドブック掲載内容に
関する会議
- 8/4 スタッフインタビュー
(中国語、英語スタッフより)
- 8/7,8,9 AIDS文化フォーラム
- 8/18 ニュースレター作成
- 8/19 スタッフの方々にインタビュー



(飯沼 美海 加藤 夏衣)

すまセンと ひと時の夏をすごして

加藤夏衣 (かとうなつひ) 専修大学文学部人文・ジャーナリズム学科3年 *インターンを通して*

私は報道で「外国人問題」が扱われるたびに疑問を抱きました。同じ問題を起こしても「外国人」というだけで強調されているように感じていたので一体「外国人問題」とは何なのか知るためにすまセンさんでインターンを希望しました。内容が多岐に渡るプログラムを通してこれは外国人によるものではなく日本人の視点から生まれたものだと気がつきました。異国の人をまとめて他者とし分断、それが差別・偏見につながっている現状を見て、報道によって形成される固定概念を取り払うこと、その人自身を見つめることこそが、求められていると考えました。

飯沼美海 (いひぬまみう) 神奈川大学経済学部現代ビジネス学科3年 *インターンを通して*

私は、新聞を読んで、近年、外国人労働者が増える一方で、外国人を受け入れる体制は不十分だと感じました。特に生活の基本である衣食住の「住」に関しては、まだまだ改善すべき点がたくさんあると感じました。そこで主に住環境に携わるすまセンのインターンに参加しました。しかしすまセンの業務は住環境に関するだけでなく、ライフスタイル全般にまで及び、様々な問題が複雑に絡み合っていることを知りました。またお昼の時間には話題になっているニュースで話がヒートアップすることが多く、普段触れることができない意見や価値観を聞けて、自分にとって非常に刺激的な日々になりました。

すまセンの

Interview with Staff !!



インターンの新鮮な視点を持ってすまセンについて掘り下げたいと思い、聞いてみました。
質問：①すまセンとの出会いについて②なぜその言語なのか③インターン生に期待すること

阿部さん（スペイン語・ポルトガル語）

①知り合いの弁護士から声がかかり、移民が多い愛川町で外国人の無料相談会の翻訳という仕事をしていた所、娘を介してペイさんと知り合う事になった。②生まれは日本で、ブラジルで育った。現地の学校に入り、ポルトガル語を学んだ。ブラジルの外国人相談窓口で働いていた際にスペイン語担当の方が産休に入ったことで、スペイン語を学んだ。

③日本の学生が日本のことだけではなく、外国の情勢や文化に興味をもってくれることは嬉しい。

佐々木さん（タイ語担当）

①他団体と一緒に活動していた阿部さんから、タイ語担当の依頼があり、今年5月からすまセンで活動している。②大学3年生のときのタイ旅行で、屋台文化に魅了された。そこでもっと知りたいと思い、タイ語を勉強した。③すまセンには様々な国の人たちが訪れ、その中で何か自分に興味のあることを探して、知識の幅を広げる。そして役に立たないと思っけていても、状況が変わって必要になるときがあるため、そのときのために継続することが大事。

長澤さん（英語担当）

①外資系企業に就職し、YMCA で英語を学習していた。そこで支援活動をする仕事に魅了され、YMCA のスタッフとして働くことになった。すまセンとの出会いは10年前に遡る。日本国内における外国人への支援をしたいと考えていたところ、ペイさん(理事長)から事務局長の依頼があり、活動を始めた。②学生の中から英語に興味があったため。③自分の興味のあることを追求すること。面白いと感じること、好きなことを見つけて、基本的なことを忘れずに継続することが望ましい。

天野さん（中国語担当）

①大学一年生の時に NPO インターンシップ説明会でペイさん(理事長)の話聞いた。当時「多文化共生」に興味があったためすまセンにてインターンをしようと思った。インターン終了後、中国語のスタッフとして求められ、現在は唯一の学生スタッフとして活動している。②祖母が戦争の残留孤児であることの経緯から中国へのルーツがある。自身は小学4年生まで中国で生活していた。その経験を活かして、日々すまセンにて相談に応じている。

スタッフ内部研修を振り返って

～ケーススタディ「フィーフィーさんの家探し」から～

8月1日(土)に研修会に参加し、すまセンの成り立ちや存在意義、通訳の心得、業務の記録の仕方などを学びました。相談の様子を再現したロールプレイングではリアルな現場を教わり、実際の活動を身近に感じました。グループワークではケーススタディを通して二つのことを学びました。一つ目は**複数人でケース検討をする重要性**です。取り扱ったケースは「フィーフィーさんの家探し」でした。相談者の現状が提示され、どのような家探しをすべきか考えました。研修会では9つの項目を重要なもの順で並べて支援策を探します。あるグループは紙に項目を記入し、優先順位を並べ替えやすくしてスムーズな議論が行われていました。「何に困り、どのようなことができるのか」を念頭に熱い議論ができたと思います。グループワークでは、個人の知識に捕われるのではなく、他者を交えた議論で新しい視点を持つことが最適解を導く方法だと考えました。二つ目は**支援するには人と人との連携が重要**ということです。行政の方が「支援団体と繋がると新しい解決策が見えた」と仰っていました。その言葉から行政、支援団体、不動産、オーナーがお互いを補うことで有効な解決策が発見できます。確実な正解がないからこそ互いの意見を聞く、ということは心に留めておきたいと思います。大変有意義な時間を過ごしました。

相談窓口 & 対応言語

10言語

英語・中国語・韓国語・
スペイン語・ポルトガル語・
タガログ語・ベトナム語・
ネパール語・タイ語・やさしい日本語

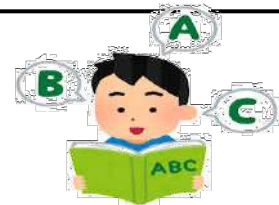
	10:00~13:00	13:00~17:00
月	スペイン語、韓国語、ネパール語	スペイン語、韓国語、ネパール語
火	英語、中国語、スペイン語	英語、中国語、スペイン語
水	英語、韓国語、中国語	英語、韓国語、中国語、タイ語
木	ポルトガル語、スペイン語、韓国語 ベトナム語	ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語 ベトナム語(～16時)
金	英語、ポルトガル語、スペイン語	英語、ポルトガル語、スペイン語 タガログ語(14時～)

◎月曜～金曜の午前10時～午後5時まで。 ◎相談は、無料で受けております。
◎対応言語は都合により変わる事があります。お電話でご確認ください。



翻訳・通訳

- ☺ 文書の翻訳を有料で行っています！
★翻訳料金や納期などについては、お問い合わせください。



【対応可能言語】
中国語・スペイン語・タガログ語・英語・ポルトガル語
韓国朝鮮語・タイ語・ネパール語・ベトナム語
ラオス語・ミャンマー語・カンボジア語など

【翻訳可能文書】
戸籍謄本・原戸籍・住民票・課税証明書
出生・結婚・離婚受理証明書・出生届
フィリピン統計局証明書・在籍証明書
会社登記簿謄本など

- ☺ 一般通訳を有料で行っています！
★役所・不動産店・年金事務所・税務署・警察署など
★詳細については、お問い合わせください。



アクセス



JR根岸線 関内駅南口より徒歩
10分
市営地下鉄ブルーライン関内駅
出口1番より徒歩5分
みなとみらい線日本大通り駅よ
徒歩5分
*横浜スタジアム向かい

〒231-8458

横浜市中区常盤町1-7 横浜 YMCA 2階

Tel: (045)228-1752 Fax: (045)228-1768

URL: <http://www.sumasen.com/>

Mail: sumai.sc@sumasen.com

ホームページもぜひご覧ください！



＜編集後記＞

* 以前から連携していた北九州のホームレス支援団体から、段ボール箱が届いた。中に入っていたのは500枚ものマスク！クラウドファンディングで呼びかけをして集めた寄付で購入、各地域でがんばっているNPOスタッフと、マスクがなくて困っている人たちに届けてほしいと送られてきたものだ。(1ページの写真参照)
* 「薬屋さんで消毒液見つけて、すまセンの分も買って来たよ〜。」「窓口用のビニールシート、ネットで見つけた！」誰に頼まれるでもなく、すまセンのコロナ対策を気にかけてくれるスタッフたち。★コロナ禍で気づく人の温かさ。
* すまセンの電話だけは、いつでもつながるようにしておきたい…と続けた電話対応。今必要な情報を多言語で翻訳、「探さなければ見つからない」ではなく、「いつでもすぐに見つけることができる」情報提供を…とホームページに載せたコロナに関する多言語情報。
★どんな時でも相談者さんの「一番かゆいところに手が届く」、そんな存在でありたいというあふれる思い。